

2023年度事業報告

I. 2023年度事業方針

世代を超えた食文化研究の永続的な発展と、食文化の普及啓発へのさらなる貢献を目指す。
食文化研究者の発掘・育成と研究・交流の場の継続的提供により、研究の更なる発展・拡大を図り、
成果・知見の外部への体系的発信を通じて、食文化への関心を喚起し、理解を深める。

II. 2023年度事業報告

1. 食の文化フォーラム

(1) 2023年度 食の文化フォーラム

年間テーマ『間食の功罪：食事とはなにかを逆照射する』
コーディネーター：野林 厚志 氏（国立民族学博物館）
総合司会：梅崎 昌裕 氏（東京大学大学院）

セッション	タイトル	スピーカー(敬称略)
1. 間食の民族誌・歴史 開催日： 2023年6月17日	① 趣旨説明 ② 世界の間食：フォーラム会員からの情報 ③「間食について考える」(ショートトーク) Part1 「狩猟採集民」に間食は存在するか 西部インドネシアの間食—ご飯でなければ間食なのか— モンゴル遊牧民の食べ方～間食と食事の区分はあるか Part2 間食の中国史・日中交流史に関する雑学 戦後に花開いた「メレンディーナ」から見るイタリアの「間食」 シリア都市民の間食—菓子・果物・ナッツ 現代日本の農村にみる間食とその類(たぐい) —間食・おやつ・菓子・お茶うけ	① 野林 厚志(国立民族学博物館) ② 梅崎 昌裕(東京大学大学院) 池谷 和信(国立民族学博物館) 阿良田 麻里子(立命館大学) 石井 智美(酪農学園大学) 岩間 一弘(慶応義塾大学) 宇田川 妙子(国立民族学博物館) 黒木 英充(東京外国語大学) 江頭 宏昌(山形大学)
2. 間食の適応的意義 開催日： 2023年9月30日	① 霊長類の食 ② 栄養学からみた間食の意義 ③ 商品開発における食事や間食	① 市野 進一郎(国立民族学博物館) ② 佐々木 敏(東京大学大学院) ③ 野沢与志津(味の素(株))
3. 間食と社会 開催日： 2024年3月2日	① 心理学的に見た間食 ② 日本の食の中の間食 ③ 総括	① 大森 美香(お茶の水女子大学) ② 山田 慎也(国立歴史民俗博物館) ③ 野林 厚志(国立民族学博物館)

(2) フォーラム記録書籍の発行

2022年度フォーラムの成果を記録書籍として出版
『朝鮮半島の食—韓国・北朝鮮の食卓が映し出すもの』(守屋 亜記子 氏 編)
2月21日 平凡社より刊行

2. 食の文化シンポジウム

(1) シンポジウム（単独開催）

テーマ：『朝鮮半島の食文化ー地域による多様性、日本との交流を知るー』

趣旨説明 守屋 亜記子 氏（女子栄養大学）

講演 「朝鮮半島の食×地域」 朝倉 敏夫 氏（滋賀県平和祈念館）

「朝鮮半島の食の経済史」 林 采成 氏（立教大学）

「オンマの味を伝えて」 ジョン・キョンファ 氏（料理家）

トークセッション

モデレーター：守屋 亜記子 氏

パネリスト：朝倉 敏夫 氏、林 采成 氏、ジョン・キョンファ 氏

2月22日 会場参加形式にて開催（会場参加94名）

(2) 共催シンポジウム：人間文化研究機構共催

テーマ：『未来の豊かな食を考えるー里山と海をつなぐ世界農業遺産ー』

講演 「風土の中の食」 佐藤 洋一郎 氏（ふじのくに地球環境史ミュージアム）

「おいしい農業・たのしい食事」 阿部 健一 氏（総合地球環境学研究所）

トークセッション

モデレーター：阿部 健一 氏

パネリスト：佐藤 洋一郎 氏、大津 愛梨 氏（O2 Farm/総合地球環境学研究所）、
コウケンテツ 氏（料理研究家）、青田 朋恵氏（琵琶湖システム広報大使）

1月18日 会場参加・同時配信ハイブリッドにて開催（会場参加66名、配信355名）

3月8日より味の素食の文化センターおよび人文機構のYouTubeにて収録映像配信

視聴数：計384（2024年5月17日現在）

3. 食の文化研究助成

(1) 2023年度食の文化研究助成（2023年7月1日～8月31日募集）

応募31件から選考委員会で10件採択

研究課題 研究者(申請時の所属・肩書)	共同 研究者	助成額 (千円)	研究期間 (年)
ウシ・牛肉の現代消費文化に関する研究:中部アフリカ・カメルーンの牧畜イスラーム社会を事例に 新川 まや(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 一貫制博士課程)	-	1,000	2
アフリカ熱帯林の保全政策が地域住民の食文化に及ぼす影響に関する人類学研究 大石 高典(東京外国語大学 大学院総合国際学研究院 准教授)	-	1,000	2
ラオスにおける女性たちのライフステージごとの食事制限 荻野 なつれ(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 一貫制博士課程)	-	950	1
障害等の子どもの食の発達困難に対応する支援システムと人材育成に関する開発的研究 田部 絢子(金沢大学 人間社会研究域 学校教育系 准教授)	-	997	2
歴史と肉:スペイン内陸部の食肉文化の変遷に関する文化人類学的研究 土谷 輪(京都大学大学院人間・環境学研究科 博士後期課程)	-	1,000	1
沖縄におけるキャッサバ利用の総合的研究 中尾 仁美(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 一貫制博士課程)	-	1,000	2
なぜ焼酎が儀礼に用いられるようになったのか:鹿児島県における酒類の文化的意味をめぐる人類学的研究 新里 勇生(神戸大学大学院国際文化学研究科 博士課程後期課程、博士学生フェロー)	-	1,000	2
食材としての酒ー近世・近代期の酒に食材を浸して造る「料理酒」・「酒浸し」・「酒浸て」を中心にー 畑 有紀(新潟大学 日本酒学センター 特任助教)	1名	1,000	1
泡盛はいかに受容されていったのかー泡盛壺の流通・展開を通してー 吉田 健太(那覇市市民文化財課 主任学芸員)	-	950	2
食卓を通じた市民共生:フランスにおけるケバブ普及にみる移民統合 和田 萌(東北大学 大学院国際文化研究科 助教)	-	1,000	1

(2) 2023年度贈呈式・中間報告会（3月7日）

2023年度助成者10名、中間報告者8名参加



4. 食文化誌『vesta』

(1) 販売実績

	特集テーマ	アドバイザー	雑誌販売数 (～2024.3)	電子版購読者数 (UU)		発行年月
				Kindle (～2023.12)	auブックパス (～2024.3)	
130	発酵と文化	北垣 浩志 氏	1,309	356	65	2023年04月
131	米を食べる文化	佐藤 洋一郎 氏	1,342	252	56	2023年07月
132	伝統野菜・在来作物	江頭 宏昌 氏	1,549	139	34	2023年10月
133	世界の珍味、日本の珍味	伊藤 文 氏	1,312	未	56	2024年01月
			前年比	111%	196%	69%

(2) 「みる vesta～食文化の世界～」制作

特集ごとに内容を紹介する映像（1分、約10分）を制作、YouTube・Instagramにて公開
2023年度特集テーマ4本・番外編「焼畑と在来作物」

視聴数：計6,328（2024年5月17日現在）

(3) 「聴く vesta」：『vesta』の特集内容を掘り下げて学べる公開講座を開催

テーマ：『発酵と文化－日本の酒と和食の文化－』

講演 中島 春紫 氏（明治大学）（『vesta』特集「発酵と文化」執筆者）

3月18日 会場参加形式にて開催（会場参加47名）

5. 公開施設（ライブラリー・企画展示室）

(1) ライブラリー実績（2024年3月末現在）

新規購入冊数	1,074冊	(対前年比 126.2%)
来館者数	4,030人	(対前年比 90.7%)
新規会員登録数	270人	(対前年比 91.8%)
貸出冊数	4,760冊	(対前年比 84.0%)
画像データ有償提供	15件(41作品)	(対前年比 68.2%)

空調工事により1月1日～2月29日臨時閉館（貸出・返却のみ継続）

(2) ライブラリーリニューアルに向けた検討

2024年度リニューアルに向けて整備コンセプトを立案し、レイアウト概要を決定

「リビングと書斎が入り混じる居心地のよい空間で、食文化への飽くなき探究心を満たす」

(3) 映像制作

日本の食文化の変化を「料理書」の歴史を通して紹介する講座形式の映像を制作

テーマ：『料理書』に学ぶ、その歴史と魅力

監修：江原 絢子 氏（東京家政学院大学）

YouTube・Webサイト公開（3月25日） 視聴数：計423（2024年5月17日現在）

(4) 企画展示

2024-2026年度の3か年にわたる展示企画のプランを検討

『大日本物産図会』にみる「食・時代・人々」－2024年度：第1回「日本の食文化」

企画・監修：曾田 めぐみ 氏（東京藝術大学 大学美術館）

(5) 外部企画協力／資料貸出

・港区立みなと図書館「専門図書館紹介 vol.3」（8月18日～9月20日）

昭和初期の雑誌、過去展示「昭和食モダン展」から大正末期の再現料理レプリカを貸出

・大田区立郷土博物館 特別展「海苔商たちの底力」（10月3日～12月3日）

江戸の図書2点貸出

・江東区深川江戸資料館 特別展「江戸ぐるめ～資料からみる江戸の食文化」（10月12日～22日）

映像『料理書』からみる、日本の食文化」「江戸のファストフード」貸出

・国立科学博物館 特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」(10月28日～2月25日)

明治・大正時代の書籍・雑誌、「秋山徳蔵コレクション」メニューカード、計6点貸出

・港区高輪図書館（2月16日～4月17日）

江戸の図書および幕の内弁当レプリカ、錦絵パネル等計4点貸出



6. 新・公開講座

(1) 学生向け公開講座

食文化へ関心を持つ若年層の拡大に向け、前年度開発「食文化入門講座」の実施を拡大

- ・東洋大学国際観光学部国際観光学科 32名(12月19日)
- ・武蔵野大学グローバル学部 21名(2月9日)
- ・栄陽子留学研究所 16名(3月23日)

講義テーマ:「寿司」、日本食に関するディスカッション、箸袋・細巻づくり体験

監修:日比野 光敏 氏(愛知淑徳大学)

7. Web・SNSを通じたコミュニケーション

(1) Web サイト リニューアル

訪問者が回遊しやすく、多様な財団活動に興味を持てるサイトを目指し改訂

6月29日全面リニューアル

- (2) Web サイト訪問者:年間のべ 94,254人(前年比 92%)、284,666PV(前年比 99%)
- (3) Facebook:2024年3月末フォロワー 1,951人(前年比 109%)、いいね! 1,705人(前年比 106%)
- (4) Instagram:2024年3月末フォロワー 490人(前年比 112%)
- (5) YouTube:2024年3月末チャンネル登録者 625人(前年比 154%)
- (6) メールマガジン:月1回発行 2024年3月末会員 3,044人(前年比 107%)

8. 理事会・評議員会

	開催年月日	主な議事
定時評議員会	2023年6月28日	第1号議案「議長選出の件」 第2号議案「議事録署名人選任の件」 第3号議案「2022年度事業報告と決算に関する件」 第4号議案「役員選任の件」 第5号議案「評議員選任の件」
第1回理事会	2023年5月30日	第1号議案「2022年度事業報告と決算に関する件」 第2号議案「2023年度定時評議員会開催に関する件」 第3号議案「役員候補者指名に関する件」 第4号議案「評議員候補者選定に関する件」
第2回理事会	2023年6月28日	[報告事項]代表理事・業務執行理事の業務執行報告
第3回理事会	2023年6月28日	第1号議案「理事長・副理事長・専務理事の互選の件」 第2号議案「名誉顧問選任の件」
第4回理事会(書面開催)	2023年9月8日	第1号議案「基本財産管理運用検討会規程の一部改定の件」
第5回理事会(書面開催)	2023年12月14日	第1号議案「2023年度食の文化研究助成対象の採択の件」 第2号議案「経理規程一部改訂の件」 第3号議案「公印に関する規程一部改訂の件」 第4号議案「謝礼規程一部改訂の件」 第5号議案「外部者の旅費規程一部改訂の件」
第6回理事会	2024年3月6日	第1号議案「2024年度事業計画及び予算案の件」 [報告事項] ①2024年度における味の素株式会社およびその関連企業との取引予定金額の件 ②代表理事 業務執行報告 ③業務執行理事 業務執行報告

以上